諫早市総合計画審議会にかかる御意見・御質問

【御意見】

内容

私たちが生きる時代は、少子高齢化の真っ只中にあり、人口減少社会という、経験の無い時代に突入しています。日本という国家に驚く程の借金があり、いずれ均衡財政にせざるをえなくなる時、大混乱になるのは必定です。

そんな中、将来都市像が旧来の抽象的、賛美的な文言で飾られただけで良いのでしょうか?どんな街にしたいのか、より具体的な都市像が必要な時ではないでしょうか?

たとえば、「将来都市像」を

- ■豊かな自然を大切にし、住みやすく、安心して暮らせる街
- ■緑豊かで、水清く、住みやすい街
- ■住みやすさ日本一の街
- ■食べ物が美味しく、生活がしやすい街
- ■安心して子供を産み、育てられる街
- ■住みたくなる街九州一
- ■仕事があって、子育てしやすく、食が安全で、住みやすい街

など

将来都市像さえ具体的なものになれば、自ずから基本目標も、基本政策もより具体的なものになって行くのではないでしょうか?

【御質問】

内 容	回答			
旧諫早市の「将来都市像」は? また、県内・類似都市の「将来都市像」は?	旧諫早市の将来都市像は下記のとおりです。また、県内・類似都市の将来都市 像は別紙に記載しております。			
	No	期間	将来都市像	計画名
	1	S42年~S54年	くらしやすい県央都市	第1次諫早市勢振興計画
				第2次諫早市勢振興計画
	2	S54年~H2年5月	県央に栄える田園文化都市	第3次諫早市勢振興計画
	3	H2年6月~H18年3月	花とみずからをささえつつ歩む 田園文化交流都市	おり久林十川芳派央計画
				第4次諫早市勢振興計画
	4	H18年4月~H28年3月	ひとが輝く創造都市・諫早	諫早市総合計画